

大型コンクリート製品

記事提供：北陸土木コンクリート製品技術協会

平成29年1～3月期の出荷状況は、前年同期比+50%となったが、今だ厳しい市場環境となっている。

出荷量の内訳は、大型ボックスカルバートが30%で、高田河川事務所管内の上沼道下野田地区改良工事に出荷された。次いで監査廊が20%で山口県平瀬ダムに富山県内製造工場より出荷された。また久々にコンクリート舗装版が新潟県内国道49号線福取トンネル抗口付近の維持修繕で出荷された。その他は長尺側溝類で、富山河川国道管内中波・脇道道路整備工事、金沢河川国道能越道小泉道路等に出荷された。

大型コンクリート製品出荷量の推移

(単位：%、千)

県名	平成27 年度計	平成28年度				累計	備考
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
新潟県	▲52	±0	▲5	+38	+67	+18	
	3.9	0.3	1.9	1.9	0.5	4.6	
富山県	▲84	+75	±0	+100	±0	+80	
	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.9	
石川県	▲∞	▲∞	±0	±0	±0	±0	
	0.0	0.0	0.02	0.04	0.02	0.1	
3県計	▲74	+43	▲5	+33	+50	+27	
	4.4	0.7	2.1	2.1	0.6	5.6	

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、大型擁壁(高さ4～8mでセグレハブ型)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーシェッド、スノーシェルターをいう。

[品質保証制度定着への期待]

整備局、新潟・富山・石川県の技術管理課等で構成されている製品評価委員会が発刊する『コンクリート製品設計便覧』を検査対象とした製造認定検査～製造管理技術委員会が先ごろ終えて、新潟・富山・石川・長野・福井・福島県内のコンクリート製品工場に認定書が発行された。

北陸地整局をはじめ、新潟県土木の工事発注で使用されるコンクリート製品は、認定書を取得している工場製品であれば、認定書の提出により承諾願いや品質証明等の書類が省略でき、製造工場への立会い検査等も不要となるシステムである。

そのような特典があることから、今後も施工業者や現場監督員からの活用を大いに期待したい。

北陸土木コンクリート製品技術協会 <http://www.hokudocon.jp>